

2017年  
10月号

通巻52号

# 地域だより みんなのなかじま

発行;中島自治会 会長;高梨 勇(電話 85 - 7422) 防災の秋が始まる

回  
覧

中島地区のちょっとした出来事、行事、活動をお知らせします。皆さんの暮らしの写真撮らせてくださいネ！

## 10月1日・湘南地区防災訓練 もしもの時、訓練以上の力はない！

●湘南地区まちぢから協議会が主催、行政と協働した防災訓練が中島中学校で行われた。今年には防災リーダーや消防分団が中心となり運営。地域の方達が防災訓練を身近に感じてもらえるよう、スタンプラリー形式で開催された。中島自治会からは会場設営、避難誘導などに27名が参加した。当日の会場と、**小学生A君の体験を報告**！



みんな集まって開会

すべてクリアのA君



水消火器で消火の練習



中学生もボランティア参加して、強力？サポート

防災手作りカルタで競争



毛布で担架を作り救急搬送



消防車に試乗！



起震車体験／震度7、やっぱり怖い

最後は防災ランチ、ゆで米を使ったカレーを食べた





## 9月24日・水害に備えた避難を考える講習会を開催

●相模川の旧堤防（通称・ぶどう園付近）は洪水のリスクが高い場所。近年の台風や集中豪雨の時怖い思いをしながら暮らしている人がいる中島。今年の春、浸水域の想定が拡大したことを知り中島自治会では洪水対策、安全な避難のため相模川の基本情報を住民自ら学ぶ必要を感じた。そのため、**我が家の逃げ方！…いつから避難準備？どこに避難する？**に答える講習会を開催。講習目標は、洪水が予測される時間までさかのぼって行動を考える予定表「マイ・タイムライン」に記入できるようにする。国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所と茅ヶ崎市役所市民安全部防災対策課が協同し①～④の順番に進んだ。茅ヶ崎市では始めて行われた2時間30分。

●参加者は回覧により申込みをされた方と、防災リーダーや自治会役員。総数31名



会場は旧堤防下にある特別養護老人ホーム湘南ベルサイド。一時避難所であるが、利用者のため同じ悩みを抱えている新門施設長。自治会と一緒に最善策を模索したい



講師は3名



参加者は地域別に5つのグループに分かれて着席。高齢者の方も近所の方と参加。顔見知り毎のテーブルのため一緒に考えられて心強かったと語られた。専門家へすぐ質問できるのが心強い！雨がひどくない、明るい時間帯に避難する決断ができるかどうか？

- ①相模川の洪水予想や、予報の種類など知る
- ②ハザードマップを見ながら我が家の浸水状況を確認
- ③洪水が起こったときの我が家の行動を想定して「マイ・タイムライン」表に記入  これまで考えていた避難行動はリセットして新しい視点を持つことから始まる？
- ④帰宅して家族と話し合っ行動できる表を作り、常に見直す



●この洪水リスクについて、11月26日日曜日（9時頃～）…中島地区防災訓練中に行います。中島の防災力の確認共に、リスクを回避する講習を聞いてください。